

薬学科の カリキュラム・ポリシー

特徴1: チーム医療の実践のために、医学部・歯学部と連携した共修科目(実習も含む)を採り入れています。

特徴2: 5年次からは、実務実習(病院と薬局)に加えて、大病院の診療科や離島の医療施設で高次臨床実習があります。

特色ある科目

(1年次) 薬学概論 I、II

前期の概論 I で医薬品の開発、使用や管理などについて学びます。後期の概論 II では製薬企業、病院、薬局を見学し、卒業後の現場の状況を知ります。

(2年次) 生理・解剖学 I、II

医学部1年次学生と共修し、各臓器の解剖と機能を学びます。

(3年次) 製剤学・DDS I

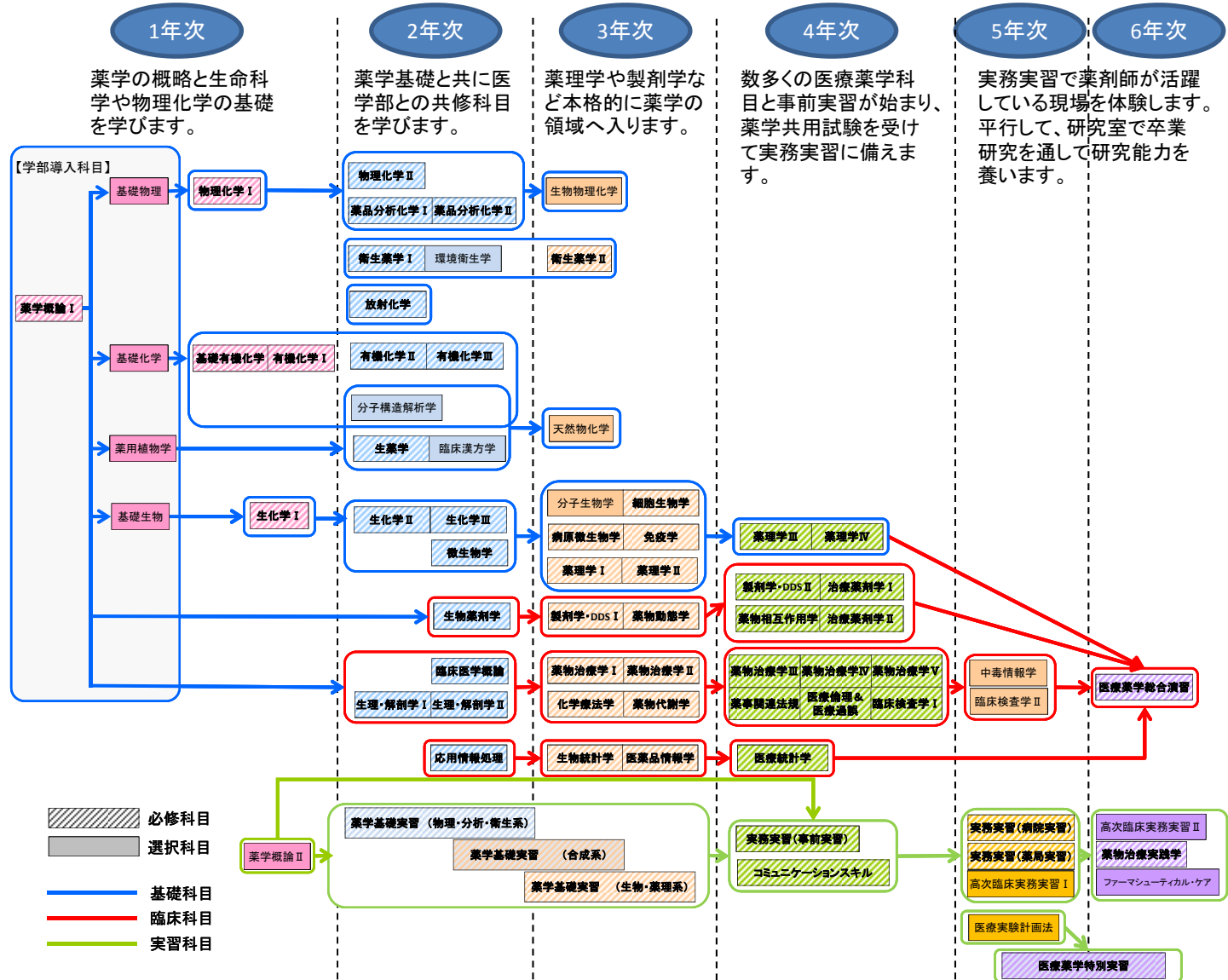
薬の剤形(錠剤、散剤、注射剤など)やその製造方法を学びます。また、薬を体内の必要な部位へ運搬するシステムの手法も理解します。

(4年次) 治療薬剤学 I、II

薬剤師に必要な調剤や服薬指導などの基本を学びます。また、医薬品の適正使用についても学びます。

教育目標

- 1 医療人に必要な豊かな人間性、高い倫理観及び知性を育む。
- 2 医療の場で薬剤師に必要なとされる知識、技能及び態度を形成する。
- 3 様々な医療の場で通用する実践力を形成する。
- 4 「くすり」の専門家として必要な課題発見能力や問題解決能力を形成する。



薬科学科の カリキュラム・ポリシー

教育目標

- 1 薬学が人間の生命に拘わる学問であることを踏まえ、薬学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、知性を育む。
- 2 薬学分野の研究者・技術者に必要な薬学領域全般にわたる基礎的知識と技能を形成する。
- 3 研究の現場で実践的な教育を長期的かつ継続的に行い、薬学分野の研究者・技術者としての基盤となる課題発見能力や問題解決能力を形成する。

特徴1: 創薬の知識や技術の基礎となる化学、物理学、生物学などの基礎科学教育を重視しています。

特徴2: ほぼ全員が大学院に進学する研究者養成プログラムで、4年次には最先端の研究に従事します。

特色ある科目

(1年次) 薬学概論 II

製薬企業、研究所を見学し、卒業後の現場の状況を知ります。また研究者として活躍中の卒業生による講演会や4年生による卒業研究の説明を聴講し、進路実現に向けた大学生活の送り方を学びます。

(2年次) 薬品分析化学 I、II

医薬品の分析や臨床化学の基礎となる分析化学について学びます。

(3年次) 天然物化学

構造から分類した天然有機化合物の生合成経路と薬理活性を学び、創薬研究に必須の構造活性相関についての理解と知識を深めます。

(4年次) 創薬科学 I、II、III

医薬品開発において必要な基礎的な知識を、有機化学や生物学、分析化学、衛生化学、物理化学の視点から学習します。

